



米商進路だより

令和4年1月17日発行
山形県立米沢商業高等学校
進路指導部（第29号）

《 進路を決定するうえで“譲れないもの” 》

連日の大雪、オミクロン株の市中感染等、私たちの生活を脅かす大きなニュースが聞こえてきます。先週は、JR米坂線が計画運休により利用者にとっては大きな負担となりました。突然放送される「本日の米坂線は…」というアナウンスに驚いた人もたくさんいました。本日より1・2年生は2週連続で検定講習が実施されますが、何事もなく無事に終わることを願ってやみません。

さて、令和4年1月15日（土）から16日（日）にかけて大学入学共通テストが行われ本校生徒も受験をいたしました。進路概況はお知らせしていますが、就職並びに進学希望者の人たちが合格内定を頂く中で、大学入学共通テストを活用し一般入学試験に挑戦する人もいます。14日（金）には、ささやかではありましたが、共通テスト激励会を実施して縁起物で“げんをかつぎ”健闘を祈りました。

ところで、本年度企業から合格内定をいただいた人たちにアンケート調査を実施しました。本校は業種で言えば、「製造（ものづくりの会社）」に従事する人が最も多く、職種で言えば事務職（経理含む）に就く傾向が非常に高くなっています。また、仕事を探す上で重視した条件では、「仕事内容」「休日」「給与」の順であり、働き方改革を意識した企業探しが少しずつ定着してきているのかもしれない。

就職活動を始めた時期については、高校3年生の春と答えた人が多くいますが、実態は3年生0学期である「今」を大切にして臨んだ結果が合格内定に結びついています。それは、この時期は検定試験繁忙期であり、商業高校の礎（いしづえ）である簿記や情報処理（ワープロ・表計算）の技術の習得は、企業の人たちから求められていることであり、合格の実績に繋がっているのです。

大学共通テストに挑んだ人たちは、5教科7科目の試験科目を突破するために、多くの学習時間を費やしてきました。本校では、1月から2月に実施される検定試験の結果を踏まえ、進路決定に至ることがあり、今が頑張りどころといっても過言ではないのです。1・2年生は講習を踏まえ家庭学習時間の確保、3年生は全商1級3種目を目指すなど、それぞれの到達点を目指し取り組んでいきましょう。

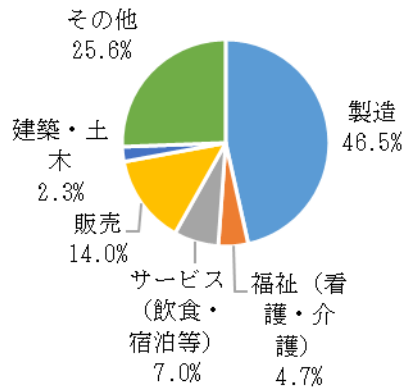
【 3年生からのアドバイス（就職希望者の皆さんへ） 】

- ◎自分ひとりで決めるのではなく、先生や先輩、保護者の意見なども参考にしながら決めて下さい。
- ◎早めに働きたい企業を見つけて、就職できるように様々な準備をして下さい。その企業の仕事内容や就職試験がどのようなものかを調べて、応募前の企業見学や面接・作文などの対策を必要以上に取り組むことが大切です。
- ◎勉強することは大切ですが自分の性格など、自分のことをよく知ることでも大事なことで、周りの人に自分のことについて聞いたり、まとめておくとういと思っています。

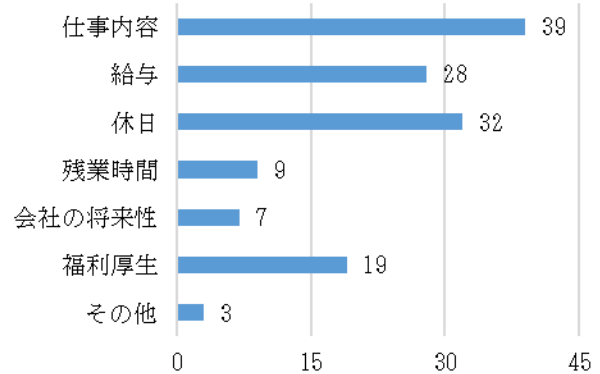
高校生就職内定者 意識調査アンケート

令和4年1月7日（金）就職内定者実施

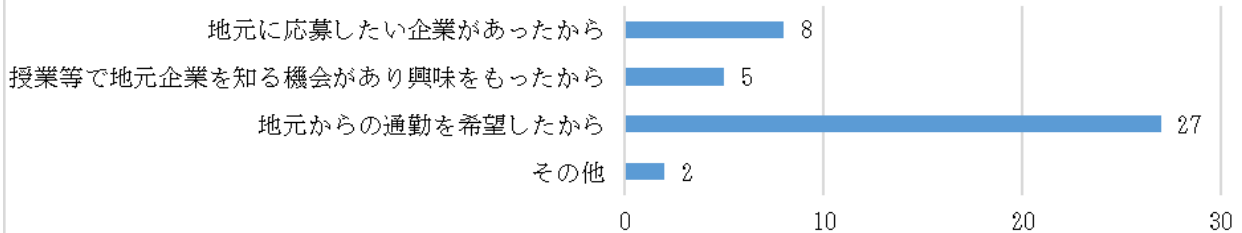
1. 就職する会社の業種を教えてください。



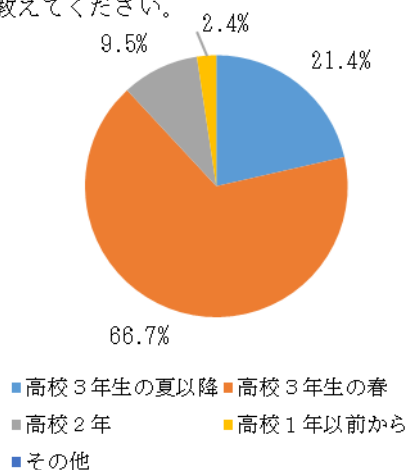
2. 仕事を探す上で重視した条件を教えてください。（複数回答可）



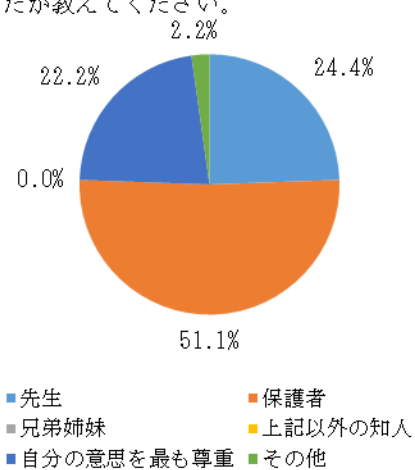
3. 県内に就職しようと思ったきっかけについて教えてください。（複数回答可）



5. 就職活動に関して意識始めた時期について教えてください。



6. 就職活動の中で誰の意見をもっとも重視したか教えてください。



就職活動の中で「保護者の意見」を重視した人が多くなっています。進路実現に向けて大事にすべきことは、親子の会話です。感染症の影響があり、県外就職希望が減少する一方で、県内企業は感染症の影響を受けず業績が顕著な企業（製造業）がたくさんあります。置賜管内の企業は若い人財（人材）を待っていますので、ご両親とじっくりと話をしてみてください。